

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和4年1月

公表: 令和4年4月27日

事業所名 ぽっぽ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	2	机を離して配置している。	限られた施設スペースの有効な活用
	2	職員の配置数は適切である	2	2		利用者数が多い時は職員の数を増やす。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	3	室内は段差がないようマットを敷いたり、死角が少なくなるよう柵等配置している。利用者の手を取ったり抱えたりしている。	入り口の階段が課題であり、必要に応じて複数スタッフ等での対応を行う。スロープの設置が可能か検討を続ける。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	1		HPで公開していることを知らないスタッフがいるため、周知する。入社時に伝える。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1	契約時にアセスメントシートを使用している。	現状把握のため、定期的にあセスメントシートを使用する。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		中心となる人物と相談しながら各自立案している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		参加できないスタッフにも共有できるよう朝礼ノートやSNSを利用している	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	1	終業時刻の関係で当日の打ち合わせは難しいが、翌朝礼にて共有している。急ぎ要件はSNSを利用して共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	3	1		研修等で各支援者にガイドラインや基本活動の内容を伝え、日頃から意識して支援できるようにする。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	1		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	2		事例なし。必要に応じて検討。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	2	児童発達支援事業所との情報共有は前例があるが、その他とは共有無し。相談支援を介しての共有を行っている。	相談支援事業所を介したより詳細な情報共有及び、必要に応じて他事業所との直接の情報共有を行う。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	1	相談支援事業所を介しての情報共有を行っている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	3		状況に応じて検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	2	代表者が参加している。	協議会・担当者会議等への参加をスタッフへ周知。情報共有をより詳細に行う。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	2		検討課題
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3		今後要望があれば検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	2	SNSを利用して殆どの保護者様にお知らせできている。	定期的な発信ではない。今後の定期的な更新及び行事予定等の発信を検討していく。
	35	個人情報に十分注意している	4			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3		検討課題

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	3		策定されているが、周知できていない。契約時、改定時等に周知するべき。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1	3		年2回の避難訓練を設けている。行えない場合は支援の中に学習等で取り入れていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	1	研修を行っている。	入社時及び定期的な研修を行う。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	1		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	2	保護者からの情報・指示に基づいて対応している。	必要時、医師の指示書の提出を保護者へ依頼する。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4			